



二十四節気の『穀雨』のこの日、令和7年4月20日、気温20度を超える中で、四ツ谷駅近くにある『主婦会館プラザエフ』を会場に開催されました。

ご多用の中、ふるさと厚岸町から若狭町長、大野町議会議長、厚岸町商工会西田会長、厚岸観光協会田辺会長、厚岸漁業協同組合蔵谷組合長、鉦路太田農業協同組合河村副組合長、営農振興課生産振興係高島主事、町総合政策課平下課長、畑山課長補佐のご参加がありました。

中村武史会長の開会挨拶に始まり、若狭町長から来賓挨拶並びに厚岸町の現況について『広報あつけし4月号』をもとに『今年一年のまちづくりの方針』を私達にも良く分かるようにご丁寧の説明をいただきました。若狭町長のお話を直接聞く機会を得て、町民の皆様と情報共有をすることが叶えられたと思っています。

その後、ふるさとのうた、『厚岸音頭』を全員で歌い、余韻が残る雰囲気の中、大野町議会議長の発声により、『極みるく65』で乾杯しました。会場内は久しぶりの再会にふるさとを懐かしく語り合い、大いなる盛り上がりがありました。

懇親会では、堅展実業株式会社樋田社長の特別な計らいで、『今年2月に発売された『厚岸ウイスキー冬

至』を特別に飲むことができます』と伝えらる、会場内には歓声が上がりました。「入手が難しく口にしたことがない」との声を良く耳にします。そので、それをこの会場で飲むことができることへの驚きの歓声だったのでしよう。カウンター前には行列ができ、グラスの中の香りを確かめて、口に含んだ時、皆さんの顔にも笑みがこぼれていました。

来賓からの一言では、厚岸町商工会西田会長、厚岸観光協会田辺会長、厚岸漁業協同組合蔵谷組合長から『町内初のクラフトビール、あつけし桜・牡蠣まつりや水産業の近況など』の話提供があり、ウイスキー、クラフトジンに続き、クラフトビールの販売の情報には早速、お店などを確認する人もいました。

宇佐美由美子さんから『AKKESH I 潮騒の町』の歌や拉致被害者救済活動の話、久保田八十巳さんからは『音楽CDプレゼント』もありました。

恒例の抽選会では『牡蠣あさりセット』『極みるく65アイスクリーム』『牡蠣ふりかけ』などを当て、皆さんの顔にも笑みが見えていました。盛り上がりの中、鉦路太田農業協同組合河村副組合長の中締めで盛会の内にお開きとすることができました。ふるさとの特産品が入ったお土産

袋を手提げ、また来年も会いましょうと声を掛け合いながら会場を後にしました。

東京厚岸会は『厚岸町民の森植樹祭』で2017年から植樹を続けています。「ふるさとに東京厚岸会の痕跡を残したいね」との会員の声があり、「東京厚岸会のエゾヤマザクラをふるさとで咲かせよう」とふるさとの桜への思いはふるさとを離れていても一人一人の心に強く残っているのでしょうか。『これからもふるさとに咲き続ける桜』への思いを込めて『厚岸町民の森植樹祭実行委員会』へ募金を届け続けて行きたいと思っています。

(事務局長：石井龍児)



△エゾヤマザクラ